

## 令和元年度 事業報告について

### 1. 事業の成果

主要な事業である下記記載の事業(1)・(2)・(3)「とやま型デイサービス大きな手小さな手」は平成26年5月に開所し、今年で6年が過ぎた。今年3月末の一日平均利用者数は9.07名。昨年同時期の8.52人より若干増えた。年度途中で利用中止(施設入所や死去)となった方が4名、新規利用者3名はおり、利用者数は減少している。定員11名に対し一日平均10名を目標としているが達成できず、今後事業所の存続にもつながりかねない。地域包括支援センターへの働きかけ、聴覚障害者協会非会員宅を訪問する等の掘り起しは日々の業務に追われ積極的に行えなかったため、計画的、継続的に行っていく必要を強く感じている。放課後等デイサービスの利用児童は2名増加し、児童指導員が対応している。介護事業収益は、わずかではあるが昨年度にひき続き黒字決算となった。しかし、まだ安定経営という観点からは遠い状況にある。さらに利用者を増やす取り組みが必要である。富山県内で唯一の聴覚障害者に配慮した介護施設としての存在は、介護事業者にも広がりつつあり、さらに関係者にアピールし周知を図りたい。

手話や聴覚障害者に対する理解を深めることを目的とした交流の場「手と手の会」は、法人会員・近隣の方・高齢聴覚障害者の参加を得て、4回開催した。平成26年度から継続してきたこの会によって、近隣に「大きな手小さな手」の認知が広まったと実感している。今後は、事業としての開催を止め、デイサービスの定例行事に参加してもらう形で呼びかけ、法人に対する支援やデイサービスの利用に繋げていきたい。

事業(4)「障害者のための作業訓練」は、平成29年6月から本施設内に作業場所を移し、障害福祉サービス利用者の作業訓練と位置づけて実施している。外出の機会を得ることで社会との繋がりを保ち、情報交換や交流を図りながら、より豊かな生活を送る機会になっている。手話通訳者2名が交代で作業指導員(兼手話通訳)を努め、作業の伝達、納品チェック、作業者の健康チェック等をおこなっている。富山県聴覚障害者協会の行事など、様々な機会を通じて作業所で作成した製品を広げる取り組みを行った。

事業(5)ボランティア事業は、これまでも買い物同行、家事援助、手話通訳などを、デイサービス職員や法人運営委員らに対応する形で実質的な活動を行ってきた。これを事業として体系化することについては、具体的な動きに結びつけることができなかった。ここ2年間で施設入所された利用者が数名おり、繋がりが途絶え寂しい思いをされているこういった方を訪問し手話で会話をする「おしゃべりボランティア」を実施したいと考えている。引き続き事業化を目指したい。

令和元年度の当法人の会員数は、正会員は個人88名・3団体(新規6名・退会10名)、賛助会員46名(新規11名・退会3名)であった。

2. 事業の実施に関する事項

(適用項目)

事業名	
具体的な事業内容	
(A) 当該事業の実施（開始）期日	(B) 当該事業の実施場所
(C) 受益対象者の範囲	(D) 人数
(E) 実施内容の報告	

(個別報告)

(1) 介護保険法に基づく事業 (2) 障害福祉サービス事業 (3) 障害児支援事業	
富山型デイサービスとして 次の事業を行う (1) ①地域密着型通所介護・介護予防日常生活支援総合事業 (2) ②共生型自立訓練（機能訓練）・生活介護 ③日中一時支援サービス（市町村事業） (3) ④共生型放課後等デイサービス ⑤基準該当児童発達支援サービス	
(A) ①②④ 平成26年5月20日 ③ 平成28年9月 1日 ⑤ 平成28年8月 1日	(B) 富山市蓮町2丁目9番8号
(C) (1) 介護保険制度に基づく利用対象者 (2) 障害者総合支援法に基づく利用対象者 (3) 児童福祉法に基づく利用対象者	(D) ①～⑤ と自費利用者を合わせた定員は1日11人
(E) 令和元年度の利用実績 営業日時 月曜日～土曜日（週6日）9時～18時30分 利用者数の経緯（介護保険・障害福祉・放課後デイ） 4月（26名・3名・3名） 5月（27名・4名・3名） 6月（27名・4名・3名） 7月（24名・4名・3名） 8月（25名・4名・3名） 9月（23名・4名・3名） 10月（24名・4名・4名） 11月（24名・4名・4名） 12月（24名・4名・5名）	

<p>1月（24名・3名・5名）  2月（24名・3名・5名）  3月（25名・3名・5名）  令和2年3月末時点の平均利用者数 9.07人／日</p> <p>以下、令和2年3月末時点の利用者内訳</p> <p>(1) 富山市9名．高岡市3名．滑川市1名．黒部市3名．入善町2名  射水市4名．立山町2名．上市町1名</p> <p>(2) 富山市2名．射水市1名</p> <p>(3) 富山市5名</p>
--

(4) 障害者のための作業訓練	
障害の状態に応じた作業を提供し利益を配分する 自主製品を企画し製造と販売を行う	
(A) 平成25年10月10日	(B) (平成29年5月まで) 富山市大町1番7号  (平成29年6月から) 本デイサービス施設内 富山市蓮町2丁目9番8号
(C) 軽度の作業が可能な障害者	(D) 5人
(E) 障害福祉サービス利用者の作業訓練と位置付け、週1回（月曜日）に行っている。 3月時点で作業者は、主に手話でコミュニケーションを行う聴覚障害者を含む障害者6名。福田屋カンパニー（富山市大町1番7号）の取扱商品の製造を受託し作業を実施した。主な作業は、紅茶等の茶葉を詰める、パッケージ等。委託側の作業内容を伝えるために毎回手話通訳者1名が交替で一緒に作業を行っている。 1年間の生産高は164,360円。作業工賃は、各月の収入を時間あたりで各自に分配した。分配額は各月で変動する。	

(5) ボランティア事業	
聴覚障害者が生活上不便なことを手助けする。（買い物、家事援助、簡単な修理など）	
(A) 平成26年10月1日（予定）	(B) 富山市内
(C) 富山市内の聴覚障害者	(D) 不特定
(E) 平成元年度の実績はなし	

**(2019年度 具体的な取り組み)**

- ・ HPの随時更新
- ・ 令和1年5月 会報第9号を発行

- ・ 令和1年 6月 1日 令和1年度第1回法人運営委員会
- ・ 6月 5日 県障害福祉課より3名が見学
- ・ 6月24日 金沢ろうあハウスが見学
- ・ 8月23日 令和1年度第1回理事会
- ・ 10月24日 羽咋市手話サークルが見学、交流
- ・ 10月28日 令和1年度第1回運営推進会議
- ・ 11月 9日 県障害福祉課より2名が見学
- ・ 11月29日 第2回法人運営委員会、理事会
- ・ 令和2年 2月29日 第3回法人運営委員会
- ・ 3月30日 第2回運営推進会議
- ・ 4月25日 第3回法人理事会
- ・ 販売等の売上
- 富山県ろうあ者大会 (5/26) 第5回日本デフランニングセミナー (7/9)
- 北信越ろうあ者大会 (10/6) 文化の集い(11/17) 全国共生セミナー(11/24)
- ・ 講演、研修、執筆の依頼
- 厚生連滑川病院 講義 (5/21・10/15)
- 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会 講義 (6/30)
- 富山型デイサービス・特別支援学校連携事業 手話実技講習 (9/17)

#### (とやま型デイサービス大きな手小さな手の取り組み)

- ・ お花見「常願寺公園」 令和1年3月30日～4月5日
- ・ 富山聴覚総合支援学校「体育祭」 令和1年5月18日
- ・ プチ遠足「ますのすしミュージアム」 令和1年6月19日～22日
- ・ 秋の遠足「匠の里&新湊観光」 令和1年11月4日
- ・ クリスマス会 令和1年12月24日 (蓮町中央通り公民館にて)
- ・ 毎週木曜日「パッチワーク教室」、月1回「ちぎり絵教室」「クラフト教室」
- ・ 馬場記念公園の清掃活動に参加 (6/2・8/4)
- ・ 蓮町中央通り公民館の清掃2回

#### (手と手のふれ合い事業)

- ・ 第1回「秋祭り」 令和1年9月8日(日) 午前11時～午後2時  
聴覚障害42名 健聴者40名(内12名が町内の方) 子ども19名 計101名
- ・ 第2回「お正月の寄せ植えを作しましょう」 令和1年12月21日(土) 午後  
参加者20名 講師：株式会社野上緑化 出口裕佳氏
- ・ 第3回「リズム体操」 令和2年3月14日(土) 午前  
参加者24名 講師：真美健康体操協会 増本衣規氏
- ・ 第4回「脳を使って遊びましょう」 令和2年3月14日(土) 午後  
参加者24名 講師：氷見きときと脳トレクラブ 堀江康子氏